

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式						
AM15Z017		化学II (Chemistry II)					導入教育科目 自然・科学		オンライン（オンデマ ンド型、含 対面）						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
選択	1	1年	医学部先進医 療科学科	後期	金4	日本語				単独					
担 当 教 員	氏名 下田恵														
	E-mail shimoda@oita-u.ac.jp 内線 5606														
授 業 の 概 要	医学教育の基礎として必要な有機化学，特に，光学異性，及び，生化学的代謝を理解する上で必要となる求核置換反応と脱離反応について修得する。単に知識のつめこみではなく，論理的思考能力を養う。														
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 光学異性を説明できる									○	○	○				
目標2 脂脂肪族求核置換反応を説明できる									○	○	○				
目標3 脱ハロゲン化水素反応を説明できる									○	○	○				
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度（計10）									4	3	3				
授業の内容															
1 有機化合物とは															
2 アルカン															
3 遊離基連鎖反応															
4 光学異性と光学活性医薬品															
5 ハロゲン化アルキル															
6 脂脂肪族求核置換反応(SN2反応)															
7 脂脂肪族求核置換反応(SN1反応)															
8 アルケン															
9 脱ハロゲン化水素反応(E2反応)															
10 脱ハロゲン化水素反応(E1反応)															
11 アルコール															
12															
13															
14															
15															
ラ イ ク ニ ー グ	A:知識の定着・確認	○	講義中に，口頭による講義内容に関するクイズ，応用的な小テストの毎回の出題と小テストに関する隣の学生との教え合いの時間，その日の講義内容を自分の言葉でカードにまとめる時間を設ける。					工 夫	そ の 他 の						
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修	参考資料について予習する（10h）。													
	事後学修	小テストについて復習する（10h）。講義ノートを復習する（10h）。													
	想定時間合計	30													
教科書	教科書を指定しない														
参考書	モリソン・ボイド有機化学(東京化学同人)														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法					割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末試験					100%	○	○	○							
注意事項	単位の修得には2/3以上の講義への出席が必要です。 オンライン講義の回はMoodle上で出欠をとるので、指定された時間内にアクセスしてください。															
備考																
リンク																
	URL															